

13142 身体表現 a、b Expression through Body Movement		3 年次～ a：前、b：後 2 単位	
担当者	鎌形 由貴乃	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関 連 資 格	保育（P c）
サブタイトル	『リトミック』というドアを開けてみよう ～幼児（乳幼児）の生活とリトミック～		
授業内容 ・ ねらい	乳幼児は生活の中で、きわめて自然な形で表現活動を行っている。強要されることのない自発的な表現活動は、私達おとなの感覚でとらえることの難しい部分が多くある。私達が忘れてしまった感覚を呼び覚まし、幼児（乳幼児）の表現活動を考えてみよう。 『リトミック』はスイスの作曲家エミール・ジャック＝ダルクローズが考案した音楽教育・表現教育のメソッドである。ダルクローズは、『リトミック』による活動のポイントを「内的聴覚を働かせることにより、音・音楽の動きと身体の動きとを対応させ、それらの関係を意識していくこと」とした。授業では「自分の身体を楽器化する」という体験を丁寧に積み重ねていく中で、「音・音楽」や「自分自身の内面」と深く向き合い、平面的ではなくエネルギーの内存する音楽表現活動や身体表現活動の心地良さ意義深さを感じることができよう。生き生きとした動きや演奏は、必ずこども達の心の琴線に触れるに違いない。		
授業計画	授業は大まかに次のような内容を総合的に展開していく。 ①オリエンテーション。 ⑧人間彫刻ーその1。 ②歌って、歌って！ 動いて、動いて！ ⑨人間彫刻ーその2。 ③歌って、歌って！ 動いて、動いて！ ⑩“自分の身体”と“相手の身体”。 ④音を探しにいこう。 ⑪身体が楽器になるープラスチックアニメへの誘い。 ⑤子どもの表現について考えるーその1・VTR鑑賞。 ⑫表現することにおいて私達（おとな）がこども達と共有すべきことは何だろうーVTR鑑賞。 ⑥子どもの表現について考えるーその2。 ⑬音符に隠された空間を感じよう。 ⑦子どもの表現から私達（おとな）の表現を発展させよう。 ⑭授業のまとめーその1 ⑮授業のまとめーその2		
教科書 参考書	教）『ポケットいっぱいのおうた』（教育芸術社） 参）必要に応じて授業中に紹介する。		
評価方法	出席の状況、レポートの提出、授業内容の理解度を確認するための実技試験。		
事前準備学習 履修条件等	必ず動きやすい服装（パンツスタイル）で受講のこと。		